

JA種子屋久自己改革の取り組み報告

JA種子屋久では、「自己改革実践サイクル」に係る3つの方針を整理し、6月開催の総代会において「自己改革取組宣言」を決定しました。方針の1つである自己改革を実践するための具体的な方針として「農業者の収入拡大・コスト抑制」につながる取り組みについて目標を掲げ、農業者の所得増大に取り組んでいるところです。

つきましては、令和5年度の取り組み状況について以下のとおりご報告いたします。【12月中旬実績】

〇さとうきびの多収性品種「はるのおうぎ」推進による単収向上

R5推進目標	800 ha	R5実績	984 ha
--------	--------	------	--------

これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・関係機関（行政、新光糖業）と連携した多収性品種の特性、栽培等についての研修会の実施。品種推進実施。（はるのおうぎ）

R4年目標：500ha 実績：508ha 【R6年度推進目標：1,000ha】

〇原料用甘藷の多収性品種「こないしん」推進による単収向上

R5推進目標	444 ha	R5実績	278 ha
--------	--------	------	--------

これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・関係機関（行政、一元集荷連絡協議会）と連携した多収性品種の特性、栽培等についての研修会の実施。品種推進実施。（こないしん）

R4年目標：310ha 実績：280ha 【R6年度推進目標：530ha】

〇たんかん優良台木「トロイヤー・シングル」への転換推進による単収向上

R5推進目標	3.0 ha	R5実績	2.5 ha
--------	--------	------	--------

これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・技連果樹指導班による早期成園化に向けた現地研修会の開催。
- ・果樹産地協議会による改植事業推進説明会の実施。

R4年目標：2.5ha 実績：2.5ha 【R6年度推進目標：3.0ha】

〇低コスト肥料の取扱拡大を通じたコスト抑制

R5推進目標	50,900 袋	R5実績	32,016袋
--------	----------	------	---------

これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・技連会、経済連肥料農薬課と連携した低コスト肥料（リッチシリーズ）の普及。春肥申込書への追加。栽培暦の変更。

- ・熊毛支場にて低コスト肥料試験圃場設置。

R4年目標：49,600袋 実績：2,410袋

【R6年度推進目標：52,000袋】



天秤座
9/23
～10/23

【全体運】家族や家の中のことを後回しにしないように。身の回りのことを優先させれば危険を回避できます。掃除は丁寧に
【健康運】無理は禁物。適度に休憩し疲れをためないように
【幸運を呼ぶ食べ物】京ニンジン

JA たねやく
2024・1

8